

2019年度科学技術イノベーションによる地域社会課題解決(DSIGN-i)支援対象地域一覧

	申請者	テーマ	提案概要
1	新潟県佐渡市、 国立大学法人 新潟大学	生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築	佐渡の里山地域をフィールドに、地域住民と技術者等が集う対話型協働探究の場（未来会議）を展開し、地域内外の多彩なSTIを生かした課題解決の可能性を切り拓くことで、生物多様性と農業技術革新が共存する里山創生の新たなモデル開発を目指す。
2	福井県鯖江市、 国立大学法人 福井大学	若者×地場産業で共創する地域未来文化「SABAEとは？」	市民が自分事として持続的な地域社会実現にコミットし、新技術や新産業が創出され続ける地域づくりをゴールとして、対話活動を通じたビジョン設定により、鯖江市に住む意味など新たな価値を見出し、地域の産学官連携基盤を活用して、そこから設定された課題の解決を図るための「共創サイクルの仕組み」を地域に定着させることを目指す。その際、成熟産業として厳しい状況下、大きな転換期を迎えている鯖江市最大の地域資源である眼鏡、漆器について先行的に仮説検証を推進する。
3	兵庫県、 国立大学法人 神戸大学	兵庫県における農林水産資源を起点とした地域の魅力拡大方策の検討	兵庫県の中山間地域の西脇市、離島である南あわじ市をモデル地区・フィールドとして、アーバンデザインセンター神戸（UDC078）が主導して未来洞察ワークショップやアイデアソンを行う。同時にひょうごビジネス研究会のネットワークを用いて技術シーズを探索・選定し、両活動をスパイラルアップさせることで、農林水産業の6次産業化、農林水産資源を起点とした教育による地域の魅力拡大を目指す。
4	広島県東広島市、 国立大学法人 広島大学	アカデミック・エンタープライズが駆動するサステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想	広島大学のビジョンである「持続可能な発展を導く科学の実現（アカデミック・エンタープライズ）」と、東広島市の総合計画方針である「世界の若者や起業家に選ばれるインタカルチュラル・シティ」を両輪に、新しい成長力を生み出す世界的な頭脳循環都市の実現を目指し、海外の戦略パートナーも含めたチームが中心となって、2つの人口増加の想定目標シナリオを検討・設定して、それぞれの段階についてビジョン、課題抽出、仮説検証を行っていくことで、大学と自治体とが一体的に魅力的な都市づくりを志向する。